

- 奈良から探る日本人の叡智と活力 -

やまとぢから

「やまとぢからは・奈良から探る日本の叡智と活力」

第一部

藪内佐斗司

第二部

新作狂言「大和西瓜」 平成伎楽団 茂山組

横治西瓜

茂山千三郎

アイスクリーム組

茂山童司

大和西瓜

鈴木実

笛

杉信太郎

小鼓

大倉源次郎



平成 25 年
5月10日 (金)

第一部：18時開演 (17時30分開場)

第二部：18時30分開演

セルリアンタワー 能楽堂

主催：奈良県

やまとぢから

Yamato-Jikara

「やまと」とは奈良を表す呼び名であるとともに、我が国全体、日本を指す名前でもある。一九四五年以来日本人が築き上げてきた戦後の国のありようが二〇一一年三月十一日に脆くも崩れ去り、三・一一以後の日本を再び築きあげて行かなければならない。一三〇〇年を超える悠久の歴史の中で培ってきた伝統文化に基づく叡智と活力。日本人が近代化する際に用いた西洋からの借り物の哲学ではなく、我々の祖先が残してくれた「やまと」の「ちから」、すなわち「やまとぢから」こそ本領を発揮すべきである。

実際、今日に至るまで「やまとぢから」が奈良に存在する比類なき歴史文化や伝統を現代にまで継承してきたのである。大和国（やまとのくに）である奈良には、このようなとてもない原動力となるパワーが潜在しており、今後の奈良県政の発展、ひいては日本の発展を支え「やまとぢから」を充分に引き出していくべきである。

「やまとぢから」とは、「やまと」の国から次の時代への「ちから」になるようにと願いを込めた、「日本（やまと）」に生きる人々に向けたメッセージである。

第一部「やまとぢからとは・奈良から探る日本の叡智と活力」

第一部は「せんとくん」の生みの親でもあり、彫刻家としてはもちろん、東京藝術大学大学院文化財保存学教授として文化財の修復などを通して、日本の伝統文化の継承に深く貢献している簀内佐斗司氏が、現代日本人に「やまとぢから」が持つ叡智と活力の喚起を促す。

第二部「新作狂言・大和西瓜」

西瓜は原産地の南アフリカから中国（一世紀～二世紀）、ヨーロッパ（一六世紀初頭）、アメリカ（一七世紀）と伝わっていった。日本へは一七世紀中期に隠元禪師が中国から持ち帰ったとされており、明治初期には、アメリカから肉質、甘味などに優れた、アイスクリーム種などの品種が導入され、それまでに栽培されていた品種との自然交雑により、様々な品種が現れた。大正時代に入り、奈良県の農業試験場で品種改良が盛んに行われるようになり、いわゆる「大和西瓜」が誕生し、全国に広まるようになった。現在売られているほとんどの西瓜のルーツはこの大和西瓜である。

— 平成伎楽団 茂山組 —

大和西瓜

アイスクリーム種

権治西瓜

彫刻家
東京藝術大学大学院文化財保存学教授



鈴木実
SUZUKI Minoru



茂山童司
SHIGEYAMA Doji



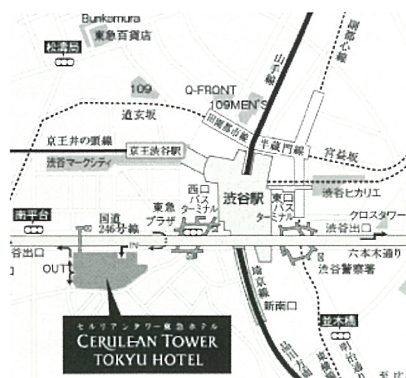
茂山千三郎
SHIGEYAMA Senzaburo



簀内佐斗司
YABUCHI Satoshi

セルリアンタワー 能楽堂

〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 B2F
TEL:03-3477-6412 / FAX:03-3477-0190



先着 100 名無料ご招待

お申し込みは：

〒住所・氏名・年齢・電話番号・希望人数
を明記の上、下記よりお申し込み下さい。

E-mail: bunka-naraken@mahoroba.ne.jp
FAX : 0742-27-8481

（ご招待決定の方にはハガキでお知らせいたします。）

お問い合わせ先：

奈良県地域振興部文化振興課文化活動係
〒630-8501 奈良市登大路町 30

TEL：0742-27-8478（直通）
FAX：0742-27-8481

●電車：東急東横線・田園都市線、JR 山手線・埼京線、東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線、京王井の頭線の渋谷駅より徒歩 5 分
●成田空港よりリムジンバスで約 110 分
●羽田空港よりリムジンバスで約 50 分
●東京駅より：JR 山手線（外回り）で約 25 分
●首都高速渋谷ランプより約 5 分
www.ceruleantower.com
＜公演に関するお電話でのお問い合わせ＞平日 10 時～18 時、土日祝 14 時 30 分～17 時 30 分

主催：奈良県